

令和4年8月30日

部課長 各位

経営部長

令和5年度当初予算編成の重点事業と留意点について（通知）

先の実施計画において、令和5年度以降に実施すべき事業の方向性が示されました。令和5年度予算の最終的な判断は次の市長が行うこととなりますが、「子どもから高齢者までが幸せに暮らし、産業が栄える犬山」を継続するため、次により令和5年度予算編成をスタートします。

1 令和5年度重点事業

子育て・教育 多子多胎世帯の支援、読解力向上のための授業推進、犬山南小学校の整備、城東小中学校の整備、新橋爪・五郎丸子ども未来園の整備、新羽黒丸子ども未来園の整備（旧市民プールの解体など）、官民連携による病児保育

産業振興 企業再投資促進のための支援、中小事業者に対する事業継続支援

都市整備 楽田桃花台線の整備、地区計画道路の整備、狭あい道路の整備

環境 公共施設のLED化推進、木曾川河川空間の活性化

医療福祉 福祉医療費助成（子ども、後期高齢者、障害者等）、障害者自立支援給付、安定した国民健康保険の運営

懸案事項 広域ごみ処理施設の整備、城東中学校南側多目的広場の整備、前原台団地への下水道整備

生活・防災 コミュニティバスの再編、消防救助工作車の更新、五ヶ村排水路の整備、橋梁長寿命化、防災重点ため池の耐震補強

行政改革 RPAとAI-OCRの活用、各種手続きのオンライン化の推進、広報紙の見直し（発行、配達）、ふるさと納税や空間活用による財源確保

新型コロナ・物価高騰 必要な対策と支援

2 予算要求に際しての留意点

- ・市の予算は、市民のため、市の将来のためのものであることを強く意識すること。
- ・創意工夫による市民サービスの利便性・効率性・付加価値の向上を図ること。
- ・常に事業や事務のあるべき姿を検証し、先進自治体や民間との比較などを実施すること。

- ・ 事業効果と市民の信頼を高めるため、見せ方・伝え方を工夫すること。
- ・ 資産活用についての創意工夫を行うこと。（公共空間の活用、官民連携など）
- ・ 近隣市町との事業の共同化を検討すること。
- ・ 新たな補助金等を獲得するために積極的な情報収集を行うこと。
- ・ 3年間の実態に鑑み、歳入歳出の両面で新型コロナを考慮すること。
- ・ 特に光熱費や工事費にあっては、昨今の物価高騰を考慮すること。